



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 アライドアーキテクト株式会社

コード番号 6081 URL <http://www.aainc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 壮秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 長井 宏和

TEL 03-6408-2791

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第2四半期 | 1,023 | — | △258 | — | △258 | — | △303 | — |
| 26年12月期第2四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 △304百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 一百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期第2四半期 | △70.65 | — |
| 26年12月期第2四半期 | — | — |

(注)

- 26年12月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、26年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については、記載していません。
- 27年12月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 |
|--------------|-------|---|-------|---|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % |
| 27年12月期第2四半期 | 1,454 | — | 1,207 | — | 83.0 |
| 26年12月期 | 1,897 | — | 1,509 | — | 79.5 |

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 1,207百万円 26年12月期 1,509百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年12月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,350 | 8.6 | △260 | — | △260 | — | △310 | — | △72.07 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成27年8月13日)公表いたしました「業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩し並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年12月期2Q | 4,301,900 株 | 26年12月期 | 4,295,900 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年12月期2Q | — 株 | 26年12月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年12月期2Q | 4,297,894 株 | 26年12月期2Q | 4,275,209 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の各種経済対策及び日銀による金融緩和により、企業収益や雇用情勢に回復の兆しが見られたものの、労働者の賃金増加には直接的に結び付かず個人消費については依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、スマートフォンや多機能端末等が普及し日常生活において、さまざまなソーシャルメディアが利用される中で、企業のマーケティング及び販売促進活動におけるソーシャルメディア活用の重要性は益々高まっております。また、ビッグデータ技術やアドテクノロジーとの連携によって、消費者への質の高いコンテンツや情報提供の可能性が広がり、ソーシャルメディアの活用範囲はさらなる拡大を続けていくと見込まれます。

このような環境において、前事業年度より開始したSNSデータの活用を支援する「BRANDCo (ブランコ)」は、順調にサービスが立上がり、シンガポール子会社についても、「Facebook Marketing Partners (※)」への認定を受けて、順調な引合いの獲得及びサービスの強化を続けております。しかしながら、既存事業については、「モニブラFacebookサービス等」の改良、拡販による顧客企業及び会員ユーザーの獲得、サービス拡大に努めてまいりましたが、昨年11月のFacebookのポリシー変更を受け、顧客企業からの新規受注が減少する傾向が続き、「モニブラ」等の既存サービスの売上が当初の想定より下回る結果となりました。

また、当期の業績見込みを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を計上することとしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,023,683千円、営業損失は258,179千円、経常損失は258,694千円、四半期純損失は303,658千円となりました。

※ Facebook社が新たに開始したFacebookマーケティングで強みを持つ開発会社と、その強みにあったニーズを持つクライアント企業を引き合わせることを目的とした認定パートナープログラムであり、認定パートナーを対象としたFacebook社の最新情報やAPIの利用が可能となります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて442,839千円減少し、1,454,530千円となりました。これは主に、増床に伴う有形固定資産の増加49,306千円及び投資有価証券の増加21,385千円の方で、現金及び預金が458,064千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて140,936千円減少し、247,170千円となりました。これは主に、給与の支払いタイミングの変更により未払費用が71,282千円減少、税金等の支払いにより未払法人税等が36,045千円、未払消費税等が55,788千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて301,902千円減少し、1,207,360千円となりました。これは主に利益剰余金が303,658千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ458,064千円減少し、855,800千円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、377,628千円となりました。これは主に、売上債権の減少16,317千円及び仕入債務の増加57,575千円であった一方、税金等調整前四半期純損失が258,684千円、未払金の減少46,386千円、未払費用の減少71,282千円、未払消費税等の減少55,788千円、法人税等の支払い33,290千円などにより資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、81,276千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出22,078千円、有形固定資産の取得による支出59,464千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、2,700千円となりました。これは、株式の発行による収入であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に公表いたしました平成27年12月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成27年8月13日)付けで別途開示しております「業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩し並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,313,864 | 855,800 |
| 受取手形及び売掛金 | 327,540 | 311,166 |
| 仕掛品 | 3,347 | 2,128 |
| その他 | 54,378 | 41,776 |
| 貸倒引当金 | △19,943 | △17,705 |
| 流動資産合計 | 1,679,186 | 1,193,166 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 25,220 | 74,527 |
| 無形固定資産 | 9,986 | 8,463 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 78,840 | 100,225 |
| その他 | 115,604 | 91,712 |
| 貸倒引当金 | △11,469 | △13,564 |
| 投資その他の資産合計 | 182,975 | 178,373 |
| 固定資産合計 | 218,182 | 261,364 |
| 資産合計 | 1,897,369 | 1,454,530 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 37,100 | 94,675 |
| 未払法人税等 | 39,050 | 3,005 |
| ポイント引当金 | 6,158 | 7,371 |
| その他 | 305,797 | 139,317 |
| 流動負債合計 | 388,106 | 244,368 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | — | 2,801 |
| 固定負債合計 | — | 2,801 |
| 負債合計 | 388,106 | 247,170 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 597,685 | 599,065 |
| 資本剰余金 | 569,685 | 571,065 |
| 利益剰余金 | 333,748 | 30,090 |
| 株主資本合計 | 1,501,118 | 1,200,220 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,994 | 5,858 |
| 為替換算調整勘定 | 2,964 | 1,106 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,958 | 6,964 |
| 新株予約権 | 186 | 175 |
| 純資産合計 | 1,509,263 | 1,207,360 |
| 負債純資産合計 | 1,897,369 | 1,454,530 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日) |
|--------------------|---|
| 売上高 | 1,023,683 |
| 売上原価 | 505,844 |
| 売上総利益 | 517,839 |
| 販売費及び一般管理費 | 776,019 |
| 営業損失(△) | △258,179 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 130 |
| 為替差益 | 1,055 |
| その他 | 47 |
| 営業外収益合計 | 1,234 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 90 |
| 株式交付費 | 60 |
| 投資事業組合運用損 | 1,598 |
| 営業外費用合計 | 1,749 |
| 経常損失(△) | △258,694 |
| 特別利益 | |
| 新株予約権戻入益 | 10 |
| 特別利益合計 | 10 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △258,684 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,170 |
| 過年度法人税等戻入額 | △2,095 |
| 法人税等調整額 | 45,899 |
| 法人税等合計 | 44,974 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △303,658 |
| 四半期純損失(△) | △303,658 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日) |
|--------------------|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △303,658 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 864 |
| 為替換算調整勘定 | △1,858 |
| その他の包括利益合計 | △994 |
| 四半期包括利益 | △304,652 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △304,652 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日) |
|-----------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失 (△) | △258,684 |
| 減価償却費 | 11,565 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △142 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 1,213 |
| 受取利息 | △130 |
| 支払利息 | 90 |
| 株式交付費 | 60 |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | 1,598 |
| 新株予約権戻入益 | △10 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 16,317 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 1,218 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △7,211 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 57,575 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △46,386 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △71,282 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △55,788 |
| その他 | 5,637 |
| 小計 | △344,359 |
| 利息及び配当金の受取額 | 112 |
| 利息の支払額 | △90 |
| 法人税等の支払額 | △33,290 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △377,628 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △59,464 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △408 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △22,078 |
| 差入保証金の差入による支出 | △575 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,250 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △81,276 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 株式の発行による収入 | 2,700 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,700 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,858 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △458,064 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,313,864 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 855,800 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

当社は、ソーシャルメディアマーケティング支援を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。